

(教材第3号様式)

吉田学術教育振興会  
令和6年度 教材活用状況報告書

報告日 令和7年7月15日

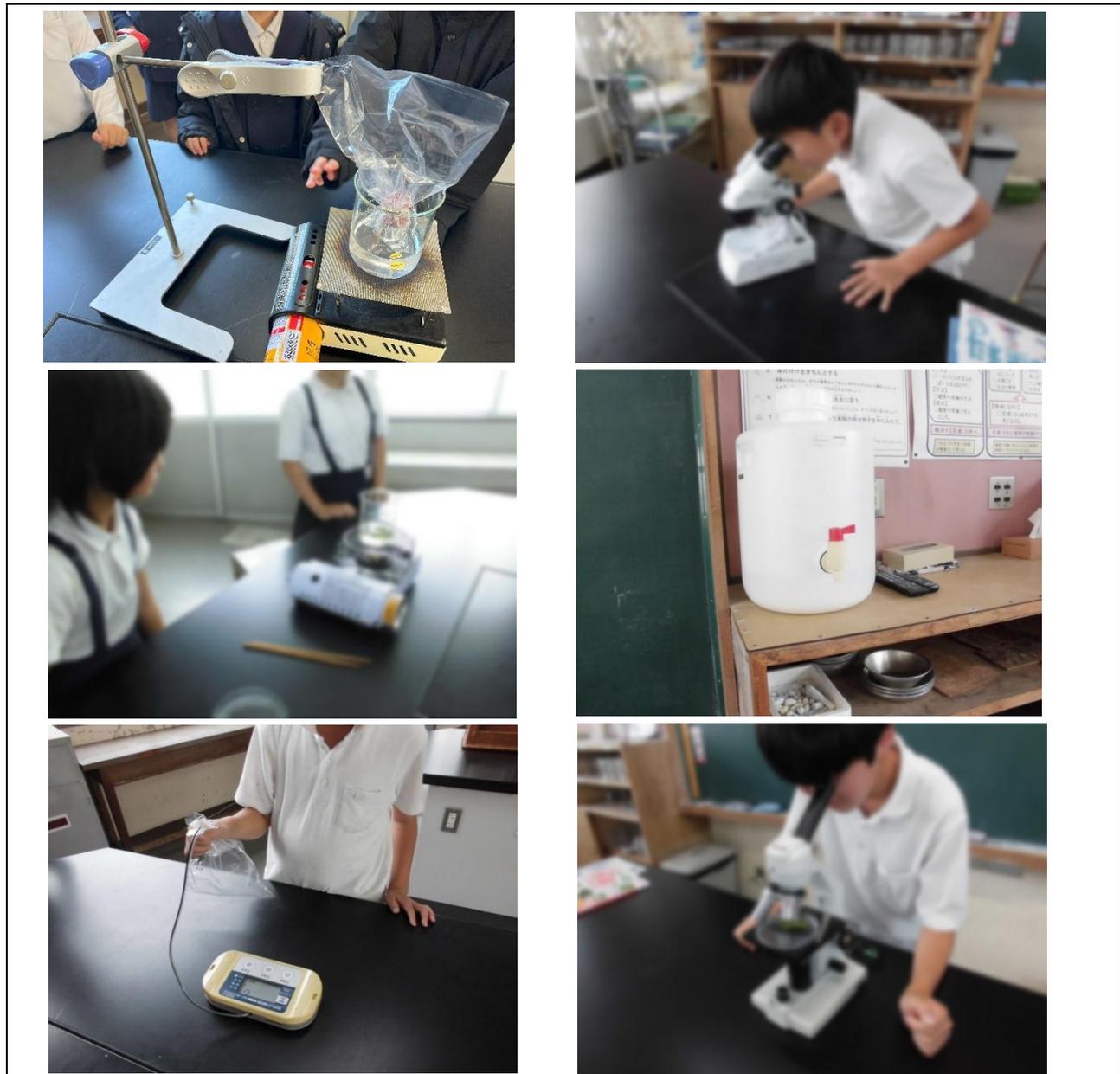
公益財団法人吉田学術教育振興会

理事長 山倉 修一 殿

学校名	久留米市立犬塚小学校
報告者	平川 善幸 (連絡先 TEL: 0942-64-2027)
寄贈品	理科実験用ミニコンロ、石灰水採水びん、 双眼実体顕微鏡、生物顕微鏡(LED源光タイプ)、 センサー式酸素・二酸化炭素測定器、鉄製スタンド
活用状況 (使用者、使用内 容、使用頻度等)	<b>【使用者】</b> ・4年生の教員及び児童が使用 ・5・6年生の理科専科の教員及び児童が使用 <b>【使用内容】</b> ・4年生の「すがたを変える水」の学習で、水を沸騰させて水蒸気を集めるビニル袋をスタンドで固定した。 ・5年生の「メダカのたんじょう」の学習で、顕微鏡をしいたまごの中の様子を観察した。 ・6年生の「ものの燃え方」の学習で、ものを燃やした後の空気に二酸化炭素が入っているかを調べる実験に使う石灰水をつくるために使用した。 ・6年生の「人やほかの動物の体のつくりとはたらき」の学習で、吸う空気とはいた空気の酸素と二酸化炭素の体積の割合を調べるために、センサー式測定器を使用した。 <b>【使用頻度】</b> ・鉄製スタンド 3時間×3クラスで利用 ・双眼実体顕微鏡 3時間×3クラスで利用 ・石灰水採水びん 2時間×2クラスで利用 ・理科実験用ミニコンロ 1時間×2クラスで利用 ・センサー式酸素・二酸化炭素測定器 1時間×2クラスで利用
申請当初の 目的達成状況	・顕微鏡での動植物の観察やコンロを使っての実験において、教材の数を増やすことで観察・実験を少人数で行い、子どもたちが主体的に学習に取り組むことができた。 ・石灰水採水びんやセンサー式酸素・二酸化炭素測定器を新しくすることで

	教師が石灰水を準備する負担を軽減させたり、測定器を繰り返し使用したりすることで学習の準備の負担軽減につなげることができた。
教育的効果について所見等	・グループに必要な教材・道具を準備することができ、子どもたちが主体的に観察や実験に取り組むことができた。また、観察や実験で使用するものを準備したり注文したりする負担が軽減したため、教育的効果は大きいと考える。

### 活用状況の写真等（当日の様子など）



### 今後の活用見通し・課題

- ・「理科実験用ミニコンロ」、「鉄製スタンド」については、4年生「ものの温度と体積」「ものあたたまり方」や5年生「もののとけ方」、6年生「水よう液の性質」などにおいて適宜活用していきたい。
- ・「双眼実体顕微鏡」「生物顕微鏡（LED源光タイプ）」については、5年生「植物の実や種子のでき方」や6年生「植物の体のつくりとはたらき」などにおいてグループ活動や教師からの提示の際に活用していきたい。